

世界展開力強化事業 メキシコ長期留学 第一回報告書
国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科 鈴木綾華

この一か月間、自分にとって冒険のような新しい体験をする機会がたくさんあった。まず8月7日、私と川端さんはデルタ航空で成田から旅立つ予定だったが、急にデルタ航空のシステム障害のためその日は飛び立つことができず、ホテルに泊まり、次の日空港が混乱している中なんとかメキシコシティまでたどり着くことができた。こういった急なトラブルに巻き込まれたことがなかったのでこれもおもしろい経験となった。

自分たちが住んでいる寮は学校のすぐ外にある AUTO といわれている学生寮で基本的に3階建てに各階4部屋で2人ずつ住めるようになっており、シャワーとトイレは各階で共同という形になっている。私たちが住んでいる一階はコロンビアやチリからの留学生が住んでおり、他国の生活習慣の違いがみることができ毎日新鮮な生活を送っている。この寮には本来成績が良い生徒が住めるようになっているらしく、ルールも厳しいため学校の外にあるにも関わらず割と安全で、勉強するための環境も整っている。しかし寮にはキッチンがついていない為、基本的に毎日三食、寮から歩いて10分ほどの *campestre* という学生食堂で食事をとっている。ほとんどの学生がこの *campestre* か学校の中心にある *central* という食堂か、ベジタリアン専用の食堂にいていて、学食に食べに通うのも他の学生とのコミュニケーションをとるためのいい機会となっている。

私は DICEA という経営学科に通っており前期は三つの授業をとることになった。この学科は自分の農大での国際食料情報学部に変似ているのでとても親しみやすい環境であった。基本的に1教科につき週に3回授業があるため私の前期のスケジュールはこのようになっている。

月曜日：14：30～16：00 *administracion1*

火曜日：10：30～12：00 *ingeniera de los process de inportacion y exportacion*

水曜日：7：30～9：00 *administracion1*

10：30～12：00 *ingeniera de los process de inportacion y exportacion*

12：00～13：30 *Economia internacional*

木曜日：10：30～12：00 *ingeniera de los process de inportacion y exportacion*

金曜日：9：00～10：30 *administracion1*

12:00～13:30 *Economia internacional*

毎回とは限らないが授業では基本的に宿題がでるため、日本にいるときよりも放課後にも教科ごとの勉強する時間が多いと感じている。最初のうちはこの宿題の制度や勉強の仕方に慣れず戸惑ったが、手伝ってくれる友達がたくさんできたため自分のできる範囲でこなしている。私は、*administracion1* の授業では大学1年生のクラスにいるのだが、そのほかには2年生の501クラスのメンバーとして受けさせてもらっている。そして、先日 DICEA では *velada* という学科内の学園祭があり、その際にクラスメイトに推薦してもらいミスコ

ンテストの企画にださせてもらえることになった。各クラス希望制でミスとミスターを推薦し舞台上パフォーマンスをして優勝を決めるというものだった。私は、アナと雪の女王のテーマソングを日本語で歌った。みんなが知っている曲だったため、大変盛り上がりともうれしかった。また、ミスターの生徒のためのパフォーマンスでもダンスに参加をし、これもまたとても楽しかった。優勝はできなかったが、一週間前から練習をして、舞台上がって、いろいろな人に自分を覚えてもらえるきっかけになり、なによりクラスメイトと仲良くなるとてもいい機会となった。Veledaの次の日はDICEAのパレードがあり、前日に優勝したミス、ミスターを乗せたトラックを先頭にみんなで風船をもったり笛を吹いたりして学内をあるいて周った。また夜にはパーティーもありみんなで夕食をとり一晩中踊った。メキシコのダンスや曲は独特でいろいろな生徒に教えてもらいちょっとずつ上達してきた。

メキシコで一か月生活をして日々感じているのはメキシコの人達の気持ちの温かさである。日本にいたときは正直メキシコのイメージはあまりよくなく、治安がただただ悪い国というイメージだった。確かに普段から自己管理はしっかりしないと危ない国ではあるが、メキシコの人々は他人に対してのホスピタリティ精神がとてもあると感じている。たとえ、英語が話せなくても自分が困っていると必ず誰かが声をかけてくれたり手伝ってくれたりする。とにかく助け合いの気持ちが熱い国だなと感じている。これも自らがこの国を訪れなければわからなかったことだ。そう考えると、ここに留学を決めてこうしていろいろな人々と出会える機会をあたえてもらっていることに対してすごく感謝のきもちでいっぱいになるし、残りの約10か月がさらに楽しみに感じる。



写真1 : veleda の後クラスメイトと。



写真2 : vienvemida パレードにて



写真3 : DICEA のキャンパス